

横浜市教育委員会事務局または学校にて委託契約を締結しているサービス Google Workspace for Education のコアサービス

横浜市教育委員会事務局または学校で委託契約を締結している以下に示すサービスの利用については、サービス提供事業者が委託事業であるため、個人情報の保護に関する法律第27条5項1号の規定により、個人情報の取扱いに関する保護者の同意確認は必要としないものとなります。また、児童生徒の情報は、所属する学校の教職員と、学校を所管する教育委員会事務局の限られた職員、サービス提供企業が利用目的の範囲内でのみ利用します。なお、Google Workspace for Education のコアサービスについては、サービス提供事業者が個人情報の閲覧、第三者提供・活用等を行わず、第三者機関による安全性の認証を受けており、Google が個人情報の個人情報取扱事業者となることはありません。

個人情報の収集・利用及びその管理については、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、適切に取り扱います。また、個人情報を取り扱う端末機等を含めた情報資産については、「横浜市教育委員会情報セキュリティ管理規程」に基づき、適正に管理・運用いたします。個人情報を取り扱うにおいては、個人情報の漏えいや、子どもたちの尊厳、プライバシーを損なうような行為を行わないよう周知徹底していきます。

○個別約款型サービス（横浜市教育委員会導入）

I Google Workspace for Education のコアサービス

(1) サービス概要

教育機関向けに安全な協働学習環境を提供しているサービスです。教職員と児童生徒がコミュニケーションを取りながら課題に取り組んだり（Classroom）、教職員や児童生徒が作成した資料を共有したり（ドライブ）できます。また、児童生徒ごとのアカウントを作成し、在学中の学習成果の蓄積や他のシステムへのログイン（シングルサインオン）にも活用します。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報（氏名、ID、パスワード、学校名 等）
- ・児童生徒の学習・生活に関する記録（課題や小テストへの解答、児童生徒とのコミュニケーション 等）
- ・学習活動の記録（授業や学校行事、部活動等の動画・写真 学習データ、デジタルノート、等）

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校や教育委員会事務局における利用

児童生徒がサービスを利用する際の事前設定や授業における協働的な学習や教材共有等で使用。

イ サービス提供事業者における利用

Google Workspace for Education のコアサービスを提供する目的のみで使用

※Google Workspace のコアサービスのデータは、サービスの利用をサポートするために正当な必要性がある場合を除き、Google が閲覧したり共有したりすることはありません。コアサービスには、広告は一切表示されず、個人情報が広告目的や Google の AI モデルの改善にも使用されることはありません。

(4) サービス提供事業者

グーグル合同会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-21-3

(5) その他

Google Workspace for Education のデータセンターは米国又はヨーロッパ、アジア太平洋となり日本法準拠で利用しています。なお、Google Workspace は政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）認証を受けています。

2 ロイロノート・スクール

(1) サービス概要

株式会社 LoiLo が開発した授業支援システムで、端末上で自分の様々な考えをカードに書き出し、そのカードを線でつなげて伝わりやすい順番に並べ替えることができるなど、短時間で自分の考えを整理する機能があります。また、作ったカードを保存し、端末（パソコン、タブレット等）を介して共有できるため、児童生徒同士の学び合いを容易に実現できます。

さらに、教職員から提供される資料や、児童生徒が作成した動画や写真、プレゼンテーション資料

等を蓄積でき、自分の学びの振り返り等に活用することができます。また、このカード作成・送受信の機能を活用して、アンケートやテスト、学校からのお知らせなどに利用することができます。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報（氏名、ID、パスワード、学年・学級・出席番号、学校名、Google アカウント、等）
- ・児童生徒の学習・生活に関する記録（ワークシート・レポート・作品の提出やクラスでの共有、小テスト採点結果 等）
- ・学習活動の記録（授業や学校行事、部活動等の動画・写真 学習データ、デジタルノート、等）

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校や教育委員会事務局における利用

児童生徒がサービスを利用する際の事前設定や授業における協働的な学習や教材共有等で使用。

イ サービス提供事業者における利用

具体的な個人を特定できない形に匿名化したデータをロイロノート・スクールのサービス提供や統計情報（本サービス利用率等）に加工した上でのサービス利用状況の調査等に使用。

(4) サービス提供事業者

株式会社 L o i L o

〒231-0003 神奈川県横浜市中区北仲通4-40 商工中金横浜ビル5階

(5) その他

ロイロノート・スクールのデータセンターは AWS (Amazon Web Services) の日本を含めた全世界のリージョンを日本法準拠で利用しています。なお、AWS は政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP) 認証を受けています。

3 学習 e ポータル L-Gate

(1) サービス概要

児童生徒や教員が使用する PC やタブレット向けの学習 e ポータルです。クラウドで提供されるため、インターネット接続ができれば、場所や端末を選ばずに利用ができます。オンラインで利用可能な学習アプリを L-Gate に登録して利用したり、文部科学省 CBT システム MEXCBT (メクビット) を利用したりすることが可能です。また、学校内でお知らせの配信やアンケートの取得ができるだけでなく、教育委員会から各学校にお知らせを配信したり、L-Gate を通した学習アプリの利用状況を学校毎に確認したりすることも可能です。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報（氏名、ID、パスワード、学年・学級・出席番号、学校名 等）
- ・児童生徒の学習に関する記録（授業アンケート、グローバルパスポート）、健康（体調や気分）に関する記録 等
- ・全国学力・学習状況調査及び横浜市学力・学習状況調査の結果
- ・はまっ子デジタル学習ドリルの解答結果

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校や教育委員会事務局における利用

- ・学校においては、客観的なデータを活用することで学習の理解や習熟の状況を把握し、日々の授業改善や教育活動の質の向上等に生かします。
- ・教育委員会事務局においては、具体的な個人を特定できないデータを用いて収集・蓄積されたデータを民間企業や研究機関等と協働して分析することで、各種施策の効果検証や改善等につなげます。

イ サービス提供事業者における利用

問い合わせ対応時の調査等に使用。

(4) サービス提供事業者

株式会社内田洋行

〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25

(5) その他

L-Gate は Microsoft Azure を利用し、Microsoft Azure の日本国内に設置されているデータセンターを利用しています。なお、Microsoft Azure は政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP) 認証を受けています。

4 横浜 St☆dy Navi

(1) サービス概要

「横浜 St☆dy Navi」は、学力調査の結果や健康状態、各種アンケート結果など、これまで独立していたデータを一元的かつ安全に集約し、相互に連携させ、様々な角度から可視化、分析できるようにするシステムです。

このシステムにより、教員の経験や勤に加えて客観的なデータを活用することで、アセスメントをしっかりと行い、一人ひとりに応じた個別最適な指導の実現の充実につなげていきます。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報（氏名、ID、パスワード、学年・学級・出席番号、学校名 等）
- ・児童生徒の学習・生活に関する記録（ワークシート・レポート・作品の提出やクラスでの共有、小テスト採点結果、学習ドリル、端末やアプリの利用ログ、検定の取得状況 等）
- ・学習活動の記録（授業や学校行事、部活動等の動画・写真 等）
- ・横浜市学力・学習状況調査の結果、横浜市体力・運動能力調査の結果（体格、新体力テストの記録 等）、健康に関する記録（体調や気分）

(3) 個人情報の利用目的

- ・児童生徒においては、自身のデータを活用しながら、学習の理解や習熟の状況を把握し、日々の学習等に生かします。
- ・学校においては、データを活用することで学習の理解や習熟の状況を把握し、日々の授業改善や教育活動の質の向上等に生かします。
- ・教育委員会事務局においては、具体的な個人を特定できないデータを用いて収集・蓄積されたデータを民間企業や研究機関等と協働して分析することで、各種施策の効果検証や改善等につなげます。

(4) サービス提供事業者

株式会社内田洋行
〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25

(5) その他

横浜 St☆dy Navi は Amazon Web Services を利用し、AWS の日本国内に設置されているデータセンターを利用しています。なお、Amazon Web Services は政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）認証を受けています。

5 家庭と学校の連絡システム すぐーる

(1) サービス概要

学校や教育委員会から家庭へのお知らせ等の送信や家庭から学校への欠席・遅刻・早退連絡等で使用する、家庭と学校の連絡システムです。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童の基本情報（学校名、氏名、学年、クラス、出席番号、Google アカウント）
- ・保護者の基本情報（続柄、メールアドレス）
- ・家庭と学校との間の連絡（出欠席の連絡、お便り、アンケート 等）

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校における利用

児童生徒の保護者と学校との間の連絡等（出欠席の連絡、お便り、アンケート等）を行います。（連絡の内容等については必要に応じて学校内で共有されます。）

イ 教育委員会事務局における利用

教育委員会からのお知らせの配信等を行います。

学校及び教育委員会事務局において、児童生徒の保護者と学校との間の連絡・確認（出欠席の連絡、お便り、アンケート等）及び教育委員会からのお知らせの配信等のため利用します。

(4) サービス提供事業者

株式会社内田洋行
〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25
バイザー株式会社
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19

(5) その他

「すぐーる」のデータセンターは AWS (Amazon Web Services) の日本を含めた全世界のリージョ

ンを日本法準拠で利用しています。なお、AWS は政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 (ISMAP) 認証を受けています。

6 情報活用能力育成ツール らっこたん

(1) サービス概要

コンピュータ上でのテスト実施 (CBT) が主流となっていく中で、その基礎となる「キーボードによる日本語入力スキル」(タイピング能力) を児童生徒に身に付けさせることが求められています。

また、文部科学省からも、「教育 DX に係る情報能力の活用」に関する KPI として小学生 40 文字/分、中学生 60 文字/分が示されています。

「らっこたん」は、(株)教育ネットが提供する WEB アプリケーションで、「キーボードによる日本語入力スキル」(タイピング能力) や、情報を適切に活用できる能力 (情報リテラシー) を、児童生徒一人ひとりの習熟度に合わせて効率的に学べるツールです。「らっこたん」は、児童生徒が自身の端末で、学校での隙間時間や家庭学習の時間に利用することができます。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報 (学年・学級・出席番号、学校名、Google アカウント等)
- ・児童生徒の本教材の利用実績 (利用時間・習熟の状況等)

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校における利用

利用実績データを活用して、児童生徒一人ひとりの習熟状況を把握し、個々の課題に応じた学習支援を行います。

イ 教育委員会事務局における利用

具体的な個人を特定できない形で匿名化したデータを、民間企業や研究機関等の第三者に提供し協働して分析することで、教育施策の効果検証や改善等につなげます。

ウ サービス提供事業者における利用

「らっこたん」を児童生徒の端末で利用できるように、個々の設定を行います。また、利用実績を取得し各学校へ提供します。

(4) サービス提供事業者

株式会社 教育ネット

〒224-0057 神奈川県横浜市都筑区川和町 1236-1 ガーデンプラザ川和 WEST 2 階

TEL: 045-507-8925 (個人情報に関する苦情・相談窓口)

株式会社ミラボ

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-1-2 ステラお茶の水ビル 8F

TEL: 03-6821-8600 (個人情報保護管理者 情報システム担当)

(5) その他

サービス提供企業が取得する児童生徒の利用実績データは、ISMAP (国が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスであることの評価制度) の認証を取得している事業者の米国サーバで保管されます。

7 読み放題型電子図書館 Yomokka! (よもっか!)

(1) サービス概要

子どもたちの読書環境を支え、新たな読書体験を提供することを目指した、読み放題型電子図書館『Yomokka! (よもっか!)』では、同じ本を何人でも同時に読むことができるため、朝の読書時間等の他、並行読書や調べ学習など授業の中でも役立つことができます。一人一台端末を持ち帰った際には、家庭でもサービスを利用して読書を楽しむこともできます。

現在、42 社約 4800 冊の作品を掲載しています (2025 年 5 月現在)。掲載作品は今後も随時追加されていきます。インターフェースは、子どもたちが直感的に操作できるように工夫しています。本を読むだけでなく、様々な本と出会える機能も搭載しており、子どもたちの読書の幅を広げることができ、読書のきっかけにつながるサービスです。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報 (学校名・学年・学級・出席番号、氏名、Google アカウント)
- ・児童生徒の本サービスの利用実績 (読書冊数・閲覧ページ数・利用時間等)

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校における利用

学習の目的に応じて、本サービスを利活用し、子どもとともに読書活動を推進します。本サービスの利用実績データを活用して、児童生徒一人ひとりの読書の状況を把握し、読書支援や学習支援を行います。

イ 教育委員会事務局における利用

アに加え、本サービスの利用実績データを、読書活動の推進につなげます。また具体的な個人を特定できない形で匿名化し、民間企業や研究機関等の第三者に提供し協働して分析することで、教育施策の効果検証や改善等につなげます。

ウ サービス提供事業者における利用

「Yomokka!」を児童生徒の端末で利用できるように、個々の設定を行います。本サービスの利用実績から得られる読書データを、具体的な個人を特定できない形で分析し、本サービスの向上につなげます。

(4) サービス提供事業者

株式会社 ポプラ社

〒141-8210 東京都品川区西五反田3丁目5番8号 JR目黒MARCビル12階

(5) その他

サービス提供企業が取得する児童生徒の利用実績データは、ISMAP（国が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスであることの評価制度）の認証を取得している事業者の国内サーバで保管されます。

8 AIドリル「Monoxer（モノグサ）」

(1) サービス概要

AIドリル「Monoxer（モノグサ）」は、学習者一人ひとりの記憶状況をAIが分析し、習熟度に応じた最適な問題を自動で出題する学習支援ツールです。学習の進捗や記憶の定着状況がリアルタイムで可視化されるため、学校では授業や小テスト、宿題管理などで活用され、ご家庭でも、日々の学習習慣づくりに役立ちます。文章、画像、手書き入力など多様な問題形式に対応しています。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報（学校名・学年・学級・出席番号、氏名、Googleアカウント）
- ・児童生徒の学習情報（回答結果、正答率、記憶度、学習時間、学習進捗、学校で実施した学力テスト等の結果等）
- ・児童生徒の学習ログ情報（操作履歴、回答の入力形式、利用時刻等）

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校における利用

学習の目的に応じて、本サービスを活用し、児童生徒の基礎学力の定着や個に応じた学習支援を行います。また、本サービスで得られた学習履歴、回答結果、記憶度等のデータを活用し、一人ひとりの学習状況を把握したうえで、学習指導やつまずきの把握、支援に役立てます。

イ 教育委員会事務局における利用

アに加え、本サービスにより得られる学習データを用いて、学習状況の傾向把握、学力向上施策の検討等、教育施策の推進に活用します。また、本サービスの利用実績データを個人が特定できない形で加工・匿名化した上で、民間企業や研究機関等と協働して分析し、教育施策の効果検証や改善につなげます。

ウ サービス提供事業者における利用

本サービスを児童生徒が利用できるようにするため、アカウント設定、教材配信、学習環境の提供等、サービス提供に必要な範囲で個人情報を取り扱います。また、本サービスの利用実績等から得られる学習データを、個人が特定できない形で加工・匿名化して分析し、サービス品質の改善や機能向上に活用します。

(4) サービス提供事業者

モノグサ株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル7階

(5) その他

Monoxer（モノグサ）のデータセンターはGoogle Cloudの日本リージョンを日本法準拠で利用しています。なお、Google Cloudは政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）認証を受

けています。

各サービス事業者の約款（利用規約）に則って 利用するサービス

次のサービスについては、各サービス事業者の約款（利用規約）に則って利用します。

児童生徒の情報は、所属する学校の教職員と、学校を所管する教育委員会事務局の限られた職員、サービス提供企業が利用目的の範囲内でのみ利用します。

個人情報の収集・利用及びその管理については、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、適切に取り扱います。

また、学校及び教育委員会事務局の個人情報を取り扱う端末機等を含めた情報資産については、「横浜市教育委員会情報セキュリティ管理規程」に基づき、適正に管理・運用いたします。個人情報を取り扱においては、個人情報の漏えいや、子どもたちの尊厳、プライバシーを損なうような行為を行わないよう周知徹底してまいります。

○定型約款型サービス（学校導入）

I Canva のサービス

(1) サービス概要

Canva は、ロゴ、グリーティングカード、Tシャツ、Web サイト（以下、それぞれ「デザイン」）など、あらゆるものをデザインできるビジュアルコミュニケーションプラットフォームです。

(2) 取り扱う個人情報

- ・児童生徒の基本情報（氏名、Google アカウント、パスワード、学校名 等）
- ・児童生徒の学習・生活に関する記録（課題作成 等）

(3) 個人情報の利用目的

ア 学校における利用

授業における表現活動や協働的な学習、教材共有等で使用。

イ サービス提供事業者における利用

Canva の提供やサービス利用状況の調査等に使用。

Canva 内でメールアドレス、名前、アカウントの基本情報を管理組織と共有する。

管理されているアカウントの制御の移管。管理アカウントが移管されると以下のことができる。

- A:管理されているアカウントと、お支払いスケジュールの設定およびプライバシー設定に変更を加える
- B:フォルダーの権限に変更を加える。
- C:管理されているアカウントを削除する

(4) サービス提供事業者

Canva Japan 株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木1丁目9番10号アークヒルズ仙石山森タワー28階

ペーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）内

(5) その他

Canva のデータセンターは豪州となり日本法準拠で利用しています。なお、Canva for Education は FERPA (Family Educational Rights and Privacy Acts) に準拠していることが認定されており、COPPA (米国連邦取引委員会 (FTC) が制定の児童オンラインプライバシー保護法) の認定を受けています。